



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

会社名 YKK株式会社

上場取引所 非上場

URL <http://www.ykk.com>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松嶋 耕一

問合せ先責任者（役職名） 財務・経理部長（氏名） 杉田 圭

TEL (0765) 54-8075

配当支払開始予定日 -

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	235,279	△5.2	11,476	△29.0	10,689	△43.6	8,945	△39.0
2025年3月期第1四半期	248,080	10.0	16,154	4.3	18,946	8.1	14,653	29.9

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 3,306百万円（△94.0％） 2025年3月期第1四半期 55,078百万円（△3.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円	円
2026年3月期第1四半期	7,461	-
2025年3月期第1四半期	12,222	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,397,093	1,105,687	77.4
2025年3月期	1,402,292	1,106,961	77.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 1,081,391百万円 2025年3月期 1,083,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2025年3月期	-	-	-	3,200	3,200
2026年3月期	-	-	-	-	-

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	1,199,240.05株	2025年3月期	1,199,240.05株
2026年3月期1Q	465.02株	2025年3月期	462.75株
2026年3月期1Q	1,198,775.96株	2025年3月期1Q	1,198,807.30株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策のもとで緩やかな回復が続いています。また、為替が日米金利差の縮小等で円高傾向に推移しているほか、エネルギーコスト高や物価の上昇、人手不足等による人件費の上昇が継続しています。

世界経済は、全体としては底堅く推移したものの、米国の通商政策の動向やウクライナ、中東地域の不安定な国際情勢等、景気の先行きが不透明で、引き続き注視していく必要があります。

このような環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比5.2%減の235,279百万円、営業利益は前年同期比29.0%減の11,476百万円、経常利益は前年同期比43.6%減の10,689百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比39.0%減の8,945百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ファスニング)

当第1四半期連結累計期間のファスニング事業を取り巻く事業環境は、米国の通商政策への懸念や中東情勢不安、中国経済の減速等の通商リスクや地政学リスクの高まりにより、景気の先行き不透明な状況が続いています。

このような事業環境のもと、米国通商政策動向の不透明感から受注が減少し、特に中国地域の加工輸出向け販売が低調に推移しました。

この結果、売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は前年同期比9.2%減の105,225百万円となりました。営業利益は、継続的なコストダウンを実施したものの、販売ボリュームの減少や操業度低下の影響、インフレに伴う賃金改定実施による労務費の上昇等の影響により、前年同期比22.5%減の11,007百万円となりました。

(AP)

当第1四半期連結累計期間のAP事業を取り巻く事業環境は、日本においては、法改正を見据えた新設住宅着工申請の駆け込みが前年度末に見られました。また、3省連携補助事業（住宅省エネキャンペーン）は、当年度も継続して実施されています。海外においては、北米では金利の高止まりや資材価格の上昇等により、ビル建材・住宅建材市場において工事の着手や進行に影響が見られます。中国では市場の縮小傾向が続き、台湾では低金利、インドネシアでは高金利が継続しています。

このような事業環境のもと、日本においては、住宅用高断熱窓やビル改装分野の販売が前年同期を上回ったものの、全体では前年同期並みとなりました。海外においては、北米ではビル建材・住宅建材の販売が前年同期を下回りました。中国では内需における高級市場の販売が好調に推移し、台湾では集合住宅向けの販売が伸長し、ともに前年同期を上回りましたが、インドネシアでは前年同期を下回りました。

この結果、売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は前年同期比1.7%減の129,289百万円となりました。営業利益は、資材価格の高騰や販管費の増加等の影響を製造コストダウン等で吸収できず、前年同期比53.2%減の1,425百万円となりました。

(その他)

その他の事業については、不動産、アルミ製錬事業等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は、前年同期比5.3%増の9,294百万円、営業利益は前年同期比15.7%減の595百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産の残高は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,198百万円減少の1,397,093百万円となりました。

負債の残高は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,924百万円減少の291,406百万円となりました。

純資産の残高は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,274百万円減少の1,105,687百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	371,292	375,617
受取手形、売掛金及び契約資産	216,308	203,301
有価証券	1,749	1,329
棚卸資産	201,684	207,219
その他	31,920	30,308
貸倒引当金	△3,024	△3,064
流動資産合計	819,931	814,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	554,113	552,069
減価償却累計額	△365,433	△365,341
建物及び構築物（純額）	188,679	186,727
機械装置及び運搬具	801,436	800,020
減価償却累計額	△655,781	△656,207
機械装置及び運搬具（純額）	145,655	143,812
土地	66,933	67,021
建設仮勘定	19,264	23,349
その他	159,325	159,178
減価償却累計額	△114,976	△115,493
その他（純額）	44,349	43,684
有形固定資産合計	464,882	464,596
無形固定資産	32,930	32,839
投資その他の資産		
投資有価証券	49,768	50,246
繰延税金資産	15,121	14,400
その他	20,783	21,372
貸倒引当金	△1,125	△1,073
投資その他の資産合計	84,548	84,944
固定資産合計	582,361	582,381
資産合計	1,402,292	1,397,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,374	58,205
短期借入金	4,550	4,565
1年内返済予定の長期借入金	10	1,011
未払法人税等	8,152	5,807
賞与引当金	25,076	32,314
従業員預り金	36,648	35,204
その他	87,314	81,088
流動負債合計	222,126	218,197
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	2,062	1,059
繰延税金負債	11,871	12,269
退職給付に係る負債	15,279	15,394
役員退職慰労引当金	477	—
その他	23,512	24,484
固定負債合計	73,203	73,209
負債合計	295,330	291,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,992	11,992
資本剰余金	35,394	35,394
利益剰余金	884,708	889,817
自己株式	△29	△29
株主資本合計	932,065	937,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,237	20,643
繰延ヘッジ損益	866	487
為替換算調整勘定	106,572	99,225
退職給付に係る調整累計額	23,668	23,860
その他の包括利益累計額合計	151,345	144,217
非支配株主持分	23,550	24,295
純資産合計	1,106,961	1,105,687
負債純資産合計	1,402,292	1,397,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
売上高	248,080	235,279
売上原価	161,117	150,828
売上総利益	86,962	84,451
販売費及び一般管理費	70,808	72,974
営業利益	16,154	11,476
営業外収益		
受取利息	1,686	1,577
受取配当金	431	533
為替差益	1,366	—
雑収入	829	1,306
営業外収益合計	4,314	3,418
営業外費用		
支払利息	361	387
為替差損	—	2,779
正味貨幣持高に係る損失	529	274
雑損失	630	764
営業外費用合計	1,522	4,205
経常利益	18,946	10,689
特別利益		
固定資産売却益	31	4,970
負ののれん発生益	1,172	—
その他	—	19
特別利益合計	1,204	4,989
特別損失		
固定資産売却損	8	7
固定資産除却損	269	305
子会社清算損	—	538
その他	65	29
特別損失合計	343	880
税金等調整前四半期純利益	19,806	14,797
法人税等	4,753	5,699
四半期純利益	15,052	9,098
非支配株主に帰属する四半期純利益	399	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,653	8,945

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	15,052	9,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	789	405
繰延ヘッジ損益	1,290	△379
為替換算調整勘定	37,465	△6,032
退職給付に係る調整額	478	214
持分法適用会社に対する持分相当額	2	—
その他の包括利益合計	40,025	△5,791
四半期包括利益	55,078	3,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,572	1,817
非支配株主に係る四半期包括利益	1,505	1,489

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファス ニング	AP	計			
売上高						
外部顧客への売上高	115,251	131,500	246,752	1,327	—	248,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	613	56	669	7,494	△8,164	—
計	115,864	131,557	247,422	8,822	△8,164	248,080
セグメント利益	14,204	3,047	17,251	706	△1,803	16,154

(注) 1. 「その他」には、不動産、アルミ製錬等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,803百万円には、セグメント間取引消去282百万円及び配賦不能営業費用△2,085百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、当社の全社共通部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファス ニング	AP	計			
売上高						
外部顧客への売上高	104,641	129,256	233,897	1,381	—	235,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	583	32	616	7,912	△8,528	—
計	105,225	129,289	234,514	9,294	△8,528	235,279
セグメント利益	11,007	1,425	12,432	595	△1,551	11,476

(注) 1. 「その他」には、不動産、アルミ製錬等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,551百万円には、セグメント間取引消去526百万円及び配賦不能営業費用△2,078百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、当社の全社共通部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(1) ファスニング事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
主たる地域		
日本	7,386 百万円	7,929 百万円
Americas	13,977	12,629
Europe	16,870	15,743
ISAMEA	16,977	15,562
ASEAN	27,187	25,052
中国	32,851	27,723
計	115,251	104,641

(注) 1. 外部顧客に対する売上高を表示しております。

2. ファスニング事業における売上高は、主として一時点で顧客に移転される財又はサービスから生じる収益であります。

(2) AP事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
主たる地域		
日本	104,102 百万円 (24,086)	104,400 百万円 (23,082)
海外	27,398 (7,513)	24,856 (6,047)
計	131,500 (31,600)	129,256 (29,130)

(注) 1. 外部顧客に対する売上高を表示しております。

2. () 内の売上高は、一定の期間にわたり顧客に移転される財又はサービスから生じる収益であります。その内、契約期間が1年を超える長期契約に係る収益の合計は、前第1四半期連結累計期間は21,241百万円、当第1四半期連結累計期間は19,668百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	16,752百万円	16,262百万円